

ごみ・リサイクル通信

VOL. 29

品川区清掃事務所

品川庁舎 ☎3490-7051

荏原庁舎 ☎3786-6552

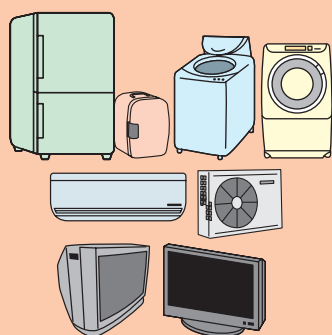
リサイクル推進係 ☎3490-7098

FAX 3783-5780

FAX 3490-7041

電気製品は正しく処分しましょう

品川区で回収できないもの



冷蔵庫・冷凍庫・保冷庫

洗濯機・衣類乾燥機

エアコン

テレビ (液晶・プラズマ含む)

買い替えするお店・買ったお店

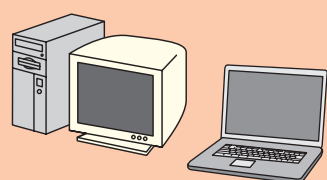
または

家電リサイクル受付センター

☎5296-7200 に申し込んでください

●午前8時～午後5時 (日曜・12/29～1/3を除く)

有 料



パソコン
(デスクトップ・ノート)

パソコンのディスプレイ

各メーカー に申し込んでください

メーカーが不明な場合

一般社団法人パソコン3R推進協会

☎5282-7685 にお問い合わせください

●午前9時～正午・午後1時～午後5時
(土曜・日曜・祝日・12/29～1/3を除く)

有 料

品川区で回収できるもの



デジタルカメラ
ビデオカメラ

CD・MDウォークマン
ICレコーダー

携帯電話・電子辞書
ゲーム機等

小型家電回収中

拠点回収

●毎月第2・第4土曜 午前10時～正午

31カ所の拠点回収会場に、当日直接お持ちください

または

区役所本庁舎2階・体育館・品川図書館・清掃事務所に
設置した回収箱に、開館時間内に入れてください



ビデオデッキ

扇風機

食器洗い機

電気毛布

プリンター

掃除機

電子レンジ

炊飯器・電気ポット
(30cmを超えているもの)

粗大ごみ受付センター

☎5715-1122 に申し込んでください

●午前8時～午後9時 (日曜・12/29～1/3を除く)

元の大きさを30cmを超えていないものは、素材により
燃やすごみ、または陶器・ガラス・金属ごみに出せます。

有 料

品川区の清掃・リサイクル事業

① 品川区の清掃事業とごみ・資源量について

区では、清掃事業の主な取り組みとして、①住宅地での「ごみの各戸収集」②商店街地区の「ごみの早朝戸別収集」③プラスチック製容器包装、乾電池、蛍光灯、水銀体温計等の「資源のステーション回収」④古着等の「拠点回収」（区内31カ所）⑤古紙等の「集団回収」の支援⑥小型家電の回収等を行っています。

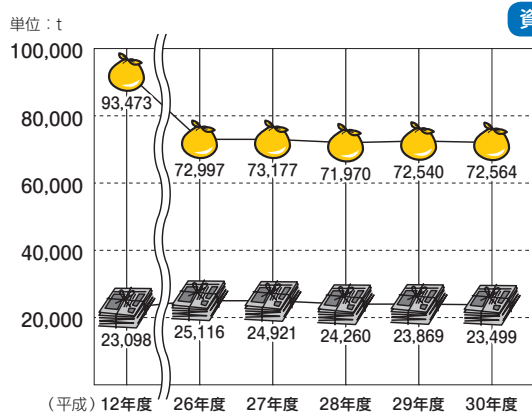
ごみの回収量は、平成30年度72,564トンで、前年度の72,540トンと比較すると約0.03%増加しましたが、区民1人1日当たりのごみ量は、平成30年度506グラムで、前年度の514グラムから8グラム減少しました。資源の回収量は、平成30年度は23,499トンで前年度の23,869トンから重量では約1.6%減っています。

今後も引き続きごみを減らしていくために、『食べられるものをごみにしない』『リサイクルできるものは資源回収に出す』などの取り組みをお願いします。

レジ袋 ⇒ マイバッグを持参すればいい!

紙パック ⇒ すすいで開いて乾かすと資源になる!

●ごみ資源回収量推移表



●区民一人あたりのごみ量

	ごみ収集量			資源 回収量	
	燃やす ごみ	陶器・ ガラス・ 金属ごみ	粗大ごみ		合 計
総 量	66,974 t	2,717 t	2,873 t	72,564 t	23,499 t
区民1人 1年あたり	185 kg (29年度 188kg)				60 kg
区民1人 1日あたり	506 g (29年度 514g)				164 g

② 処理経費について

平成31年度（令和元年度）の清掃事業の予算は、車両の借上費やごみの分別等の普及啓発費等で約61.9億円となっています。これは、品川区の一般会計予算約1,878億円の3.3%にあたります。

また、ごみの処理や資源の回収には費用がかかります。区民一人あたりのごみの処理および資源回収にかかった費用は、平成29年度ベースで次のとおりです。

品川区のごみ・資源の処理にかかった経費（平成29年度）



1年間で
約**53.9**億円

1人あたり 約13,924円
ごみ 10,760円
資源 3,164円

お問い合わせ

品川区清掃事務所 庶務係

☎ 3490-7705

ごみ・リサイクルの未来をいっしょに考えてみませんか？

現在、第10期廃棄物減量等推進審議会の区民委員を募集しています。

持続可能な社会を作るためには、環境問題に向き合い、さらなるごみの減量に取り組んでいかなければなりません。

区では、ごみの減量や資源の再利用の促進などについて、学識経験者、事業者や区民の方を委員とする「品川区廃棄物減量等推進審議会」において、これまで9期にわたり多方面からの切り口で審議いただいております。ぜひ、ごみ・リサイクルの未来を、いっしょに考えてみませんか？

募集要項

【任期】令和元年7月から2年間

【対象】20歳以上で、ごみ・リサイクルについて関心のある区民の方（選考により若干名）

【活動内容】年3・4回、平日昼間の会議にご出席いただきます。

【報酬】条例に基づき支給されます。

【申込】7月5日（金）までに、住所、氏名、年齢、生年月日、電話番号、応募動機と、ごみ減量・リサイクルに対するご意見（400字詰め原稿用紙2枚程度）を、品川区清掃事務所（〒141-0032 大崎1-14-1）へ郵送または持参してください。（書式は問いません）

選考結果は別途応募者全員に通知します。



お問い合わせ

庶務係



3490-7705

ごみ減量を推進するために 「生ごみ処理機」購入費の一部を助成しています

いつでも投入可能

生ごみが減る

臭いがほぼない

環境にやさしい

事業所では、廃棄物
処理経費が削減

家庭
用

家庭用電気式生ごみ処理機購入費の一部を助成しています。
<上限あり>

申し込み要件：品川区内に在住で、家庭用電気式生ごみ処理機
を購入予定の方または購入後3か月を経過していない方

*詳細は、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ

リサイクル推進係



3490-7098

事業
系

事業系生ごみ処理機を購入する事業者の方へ購入費の一部
を助成しています。<上限あり>

申し込み要件：品川区内に店舗・事業所を有し、品川区内の
店舗・事業所から排出される生ごみを処理する事業者

*詳細は、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ

許可指導係



3490-7034

飲んだあとは…分別して資源回収に出しましょう!

きちんと分別して資源回収に出せば、また製品に生まれ変わります。



まだ食べられる食品をごみにしていませんか?

まだ食べられるのに廃棄される食品のことを『食品ロス』といいます。

日本の食品ロスの半分は家庭から出されたもので、国連WFP（国連の食糧支援機関）による世界全体の食糧援助量に匹敵します。日本の食糧自給率は先進国の中でも低く、食糧の約6割を輸入しているのに、それを捨てているのです。

家庭で食品を食べずに捨てる理由は、「鮮度の低下・腐敗・カビの発生」「消費期限・賞味期限が過ぎた」が多いといわれています。また、生ごみの2割は手付かずの食品だったという調査結果もあります。

冷蔵庫に期限切れの食品はありませんか?

冷蔵庫の在庫管理が上手にできれば、期限切れや腐敗でごみにする食品を減らすことができます。しかし、何が入っているか忘れてしまうことも…。

そんな時は、ホワイトボード(マグネットタイプや壁掛けタイプがあります)とホワイトボードマーカーを用意してみてください。

生ものや消費期限が近い食材を書いておけば、うっかりすることがなくなります。あわせて、足りない食材も書き出しておく、無駄な買い物をしないで済みます。無駄をなくせば家計にもやさしく、ごみも減って、一石二鳥です♡

